



アサガオの花（1年生）

麻里布小だより

8月



<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/ma>

令和3年8月号 大野元良

1学期の御協力に感謝！思い出に残る夏休みを！！

4月から始まった長い1学期が終わろうとしています。保護者や地域の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症予防のため、様々な制約が伴う中ではありましたが、教育活動に対してご理解とご協力賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

子どもたちには、まずは元気に1学期のゴールが迎えられることを、しっかりほめてあげていただくとともに、子どもたちなりに頑張ったこともしっかり認めてあげていただきたいと思います。

日々お子様と接しておられると、なかなか成長を感じ取れないものかも知れませんが、心も体も、そして学習面においても、一人ひとりがその子らしく確実に変容を遂げています。夏休みを迎える節目に、お子様と1学期の様子をふり返り、価値づけていただくことが大切だと思います。

また、2学期に向けてがんばることもしっかりと話し合っ、今後の取組の励みにしていただきたいと思います。

さて、7月21日から42日間の夏休みに入ります。

まずは、安全と健康を第一に過ごしてくれることを切に願っています。そのために、規則正しい生活を心がけ、計画的に学習やスポーツ等に取り組んでいただきたいと思います。

私事でお恥ずかしい話ですが・・・10年余り前の夏休みの思い出です。夏休みは、2人の子どもとともに、毎年の宿題である自由研究との格闘でした。どちらかという親が本気になってテーマを探し、例えば「水」を調べる研究では、いろいろな場所に出かけて水質検査をしました。涙を流すまで研究発表の練習をさせたこともありました。子どもにどのような記憶として刻まれているかは定かではありませんが、いつか話題にしてみたいと思っています。今となっては、親としてのよい思い出です。

各ご家庭におかれましては、長い休みがだからこそできる経験や、親子や家族でのふれあいの時間も大切にさせていただきますようお願いいたします。

～野菜作りのプロから学びました～

2年生は生活科の学習で、ミニトマトやキュウリなどの野菜の栽培に取り組んでいます。7月2日（金）学校運営協議会会長の安達敏雄様を講師に招いて、野菜作りのコツを教えてくださいました。「野菜を大きくたくさん育てるためには？」「葉を虫から守る方法は？」などの疑問に丁寧に教えていただくとともに、肥料の与え方や支柱の立て方などについて教えていただきました。



「交通教室」を実施しました！

7月5日（月）に3年生を対象として、岩国警察署の方を講師に迎え「交通教室」を実施しました。3年生からは、自転車を移動手段として行動範囲も広域となることから、事故防止に向けた学習に取り組むものです。

警察署の方からは、

- ① 信号を守ること ② 「止まれ」の標識を守ること
- ③ ヘルメットを着用すること ④ 歩道での自転車走行
- ⑤ 自転車に乗ると事故の加害者になる可能性もあることから、

保険への加入が望ましいこと
などについて、教えていただきました。

また、自転車の点検の方法や基本的な走行の仕方について、実際に自転車を使った学習をしました。

事故防止に向けた安全指導を継続して、すべての児童の「にこにこ」を支えていきたいと思います。



6年生のリーダーシップと「たてわり班遊び」

6月25日（金）に2回目のたてわり班遊びを実施しました。6年生が工夫を凝らし、屋内外で異学年交流の輪が広がりました。

児童の感想から、下級生を思いやる優しさや、集団をまとめるリーダーシップの芽生えと手応えが感じられてうれしく思います。これからも、「わくわく」「にこにこ」の広がりを期待しています。



【6年生児童の感想から】

今日の昼休みにたてわり班遊びがありました。たてわり班遊びをやってみて思ったことは、最初にやった時と比べて、みんな緊張していなくて、むしろいい笑顔で楽しんでいたのでよかったですと思いました。

一つ目のゲームが終わって二つ目のゲームを始めるために「もう一つ目のゲームを終わりにします。」と言うと、一年生の女の子が「え～もう？」と言ってくれてとても楽しんでくれていたんだなと思ってうれしかったです。

次のたてわり班遊びは、今日よりももっと楽しい遊びを考えたいです。（6年 田中心遙さん）

～ご厚意に感謝申し上げます～

昨年度末に、学校運営協議会委員の高橋正徳様から、子どもたちのために役立ててほしいと、過分なご寄付をいただきました。

高橋様と相談させていただき、この中から、「SDGs～持続可能な開発目標～」に関連する書籍を購入いたしました。また、図書館前に「高橋正徳さん文庫」の書架を設けました。

近年「SDGs」という言葉はよく取り上げられておりご存じのこととは思いますが、環境やエネルギー、成長・雇用、気候変動など分野は多岐に渡る中で、国際的な取組として明るい未来を創るために行動していこうという意味を有するものです。

書籍をとおして、未来の担い手である子どもたちにも、しっかりと学んでほしいと思います。

6月下旬に、高橋様をお招きして、図書委員会の児童によるお礼の会を開きました。

その際、高橋様から次のようなメッセージをいただきました。

○「SDGs」を学ぶことは未来のために必要なことです。本を読んで勉強に役立ててください。

○麻小の皆さんに伝えたいのは、「正直と勇気と優しさ」を忘れないでほしいということ。この3つはとても大切なことだと思っています。

この場をお借りして、ご紹介させていただくとともに、ご厚意に改めて感謝の意を表したいと思います。

